

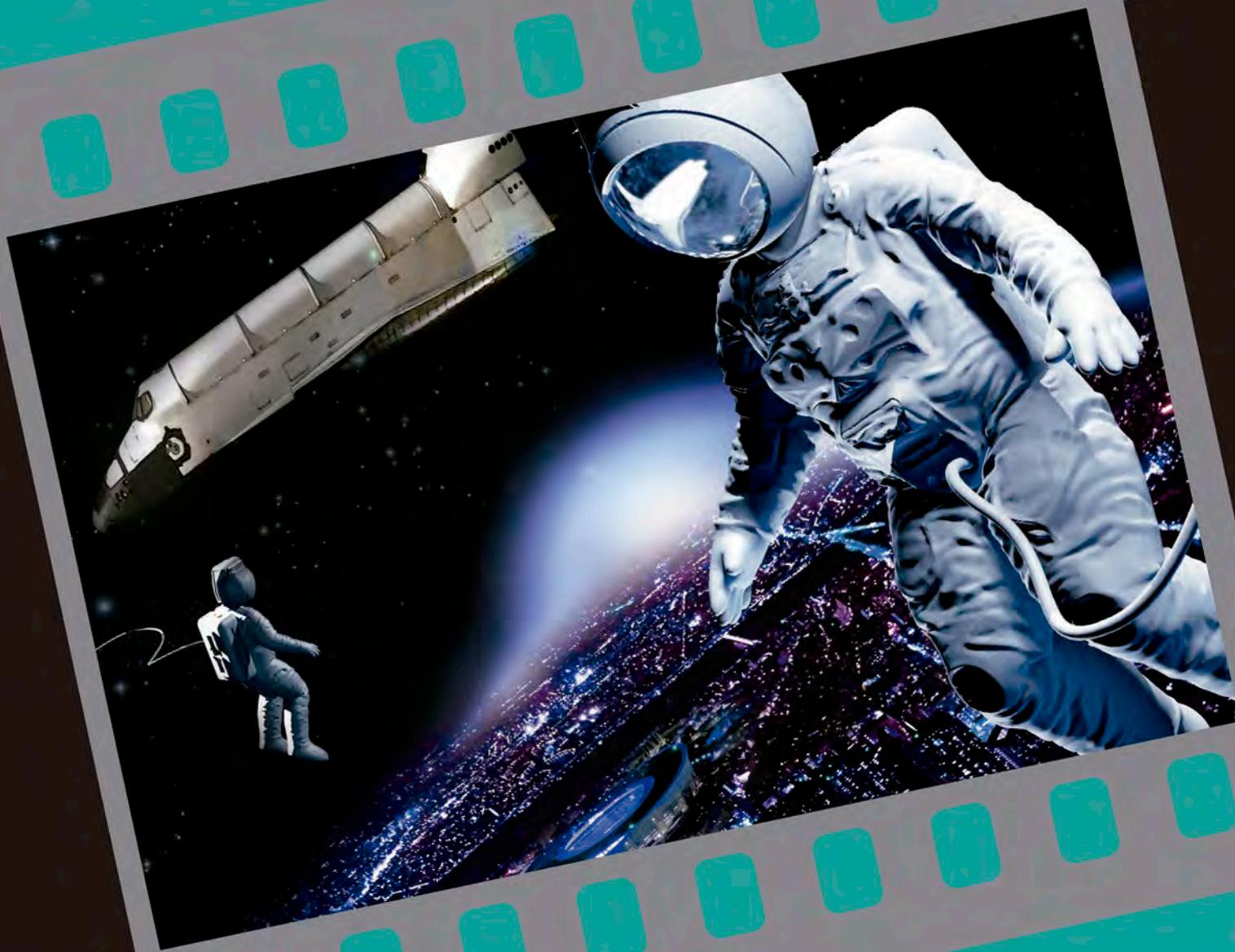
REA

Real Estate Alumni Association

明海大学浦安キャンパス同窓会 緑風会報

News
vol.24

- 緑風会メンバー
浦安キャンパスめぐり
- 不動産学部 Book Introduction
- 2019年活動報告



<http://www.meikai-rea.jp/>

明海祭で振り返る。

緑風会メンバー 浦安キャンパスめぐり

2019年11/2 (土)・3 (日) に開催された「第32回明海祭」。明海祭を訪れた不動産学部OBが、一步キャンパスに足を踏み入ると、あの頃のことがよみがえる…。

卒業から約10~25年の緑風会メンバーに、キャンパスを歩きながら学生時代の思い出を語ってもらった。



今回参加したのは…
後藤 智さん(2003年卒)・小野文章さん(1996年卒)
津賀国栄さん(2009年卒)・中山直彦さん(2002年卒)
渡辺孝之さん(1995年卒)



思い出スポット② 学生ホール



渡邊：所属していた軽音サークルのたまり場になっていました。そこでギターを弾いたり、しゃべったり。いつも誰か仲間がいるので、授業以外のときはいつも学生ホールに入り浸っていました。明海祭での演奏もしていたんですが、軽音サークルはほかにもいくつかあったので、ステージの日程調整が大変でした。

中山：当時は今と違って、構内も敷地内も喫煙自由。授業の合間に構内のベンチがあるスペースで皆よくタバコを吸っていましたね。

思い出スポット①

学生食堂マリーンズ (1F)

小野：学食でカツカレーなどを食べて仲間と話したりしてたなあ。量が多かった！

渡邊：私がカレーで思い出すのは、2階のカフェの楽しい店長さん。キッチンカーでカレーを販売したりして、そのカレーが絶品でした。

中山：安くてうまくてありがたかったですね。メニューもいろいろありましたし。味の方は…、好みはひとそれぞれでしたね(笑)

津賀：僕の時代には学食横のテラスにパラソルがあるスペースがあって、そこはいつも格闘技サークルの仲間の居場所になっていました。明海祭では、たこ焼きも出店してましたが、出店希望が多くてくじ引きで出店の可否や場所を決めていました。

キャンパスMAP



▲図書館最上階 屋上庭園からの眺め

2016年から朝食も食べられるそう。私の学生時代にもほしかったなあ！



▲ある日の朝食。この品数で200円！

今の学生食堂

多くの学生の憩いの場は相変わらず！メニューのディスプレイもしっかり。



思い出スポット③ グラウンド周辺



小野：外のグラウンドの外側は土を盛っただけだったので、今は緑ですごくきれいになっていますね。トラックも立派になってますね。

渡邊：昔はトラックも正確に400mじゃないって、スポーツ系のサークルの奴らがウワサしてたり(笑)。クラブハウスも今のように立派なものではなくて、普通のプレハブでしたね。



グラウンドには120人収容できる観客席も。すごく立派になったなあ

緑風会のこれからについて

「会員相互の親睦と母校の隆盛を図り、学術の振興と社会の発展に寄与する」という趣旨のもと創立した緑風会も、すでに20年超になりました。創立趣旨を実行していくためには、緑風会の何よりの財産である会員相互のコミュニティ形成をより強固にしていくことが必要です。今後20年を考えると、同窓生の世代構成は20代から60代と幅広くなるため、さまざまな世代の会員相互の交流をより活発に行うにはどうすればよいか、今後の課題になってきます。また、不動産学部ということもあり、卒業後に不動産関係の仕事に携わっていない人が参加しづらいという意見も出ています。

現在、緑風会ではこのような課題・意見を解決するため、毎年さまざまなイベントを開催しています。ぜひ、若い世代には一度でもいいのでイベントに参加いただき、同窓生同士のつながりを感じてください。緑風会で経験できる「同窓生のつながり」や「自分にながでできるか考える」ということは、必ず人生の糧となるはずです。



不動産学部
Book Introduction VOL.1

社会に出てからも学ぶべきことが多い不動産や建築業界。OB・OGにも読んでほしい、明海大学の先生方が著した本を紹介します。

建築実務テキスト
「建築プロデュース
- 土地・建物・権利・価値を総合的に考える -」

○著者/中城 康彦 ○定価/2,800円+税 ○判型・ページ数/B5・168ページ
○出版社/市ヶ谷出版社 ○発行日/2019年10月4日
○ISBNコード/978-4-87071-149-5



Contents

- 第1章 なぜ、建築プロデュースなのか
- 第2章 建築プロジェクトの担い手
- 第3章 建築のライフサイクルに関わる不動産の法と制度
- 第4章 基本構想を作成する
- 第5章 不動産の収益価格を評価する
- 第6章 事業収支計画を作成する
- 第7章 不動産投資を分析する
- 第8章 権利変換計画を作成する

建築と不動産は密接な関係なのに、各専門家が独自に物件を取り扱っている。本書は、そんな建築と不動産を“つなぐ”テキストとして作成した。単なる教科書に終わらず、読了後には建築・法律・経済の知見を統合して、付加価値を創出し実現する方法を理論的に構築することができる“新たな時代の担い手”となってほしいという想いが込められている。

著者 Comment



中城 康彦教授

建築学を学ぶ学生が、伝統的な建築分野の枠を超えて、建物に関わる広い分野で活躍するようになってほしいと願い、この教科書を執筆しました。教科書といっても、学生だけでなく、建築分野で活躍する建築の実務家はもとより、伝統的な不動産業に従業する不動産の実務家の方々にもぜひ読んでいただき、建築と不動産、フローとストックをつなぐ一助となるよう工夫をしております。

本書は、つなぐ本です。建築の「まえ」と「あと」をつないでいます。「建築」と「不動産」をつないでいます。「建築(もの)」と「法律(ひと)」と「経済(かね)」をつないでいます。本書は、フローとストックをつなぐことを目指しています。ご笑読いただければ幸いです。

不動産学部の先生方の著書紹介 (3年以内発行)

先生	種別	著書名	出版年/出版会社
学部長 中城康彦 教授	単著	『建築プロデュース』	2019年10月/市ヶ谷出版社
	共著	『生活者のための不動産学への招待』(担当部分単著)	2018年3月/放送大学教育振興会
	共著	『建物の鑑定評価必携第3版』(担当部分単著)	2018年5月/建設物価調査会
	共著	『不動産政策研究総論』(担当部分単著)	2018年7月/東洋経済新聞社
周藤利一 教授	共著	民法改正で変わる住宅トラブルへの対応	2017年/中央経済社
	共著	生活者のための不動産学への招待	2018年/放送大学教材
	共著	世界の空き家対策	2018年/学芸出版社
	共著	土地はだれのものか 人口減少時代に問う	2019年/白揚社
	共著	[新版] わかりやすい宅地建物取引業法	2019年/大成出版社
	共著	地域価値の向上に資する不動産ストック活用事例と考え方	2019年/明海大学・不動産流通推進センター
山本卓 教授	単著	『グローバル社会と不動産価値』	2017年/創成社
	単著	『会計・経営分析入門テキスト』	2018年/創成社
中村喜久夫 教授	単著	スッキリとける宅建士	2019年1月/TAC出版
		スッキリわかる宅建士	2019年5月/TAC出版
		スッキリわかる宅建士	2019年12月/TAC出版
兼重賢太郎 准教授	共著	2019年度版 宅地建物取引士講習基礎テキスト	2019年6月/公益財団法人不動産流通推進センター
小杉学 准教授	共著	『境界線上の法/主体: 屈託のある正義へ』	2018年/ナカニシヤ出版
	単著	模型づくりからはじめる建築製図の基礎	2016年4月/彰国社
前島彩子 准教授	共著	『マンションの終活を考える』	2019年6月/プロGRESS
	共著	2015年ネパール・ゴルカ地震災害調査報告書	2016年/日本建築学会
原野啓 准教授	共著	『岩波講座 日本経済の歴史6 現代2』	2018年5月/岩波書店
	共著	『アジア不動産市場の投資環境(仮)』	2020年3月発行予定/慶応大学出版
中田裕子 講師	共著	『高齢者法』	2019年8月/東大出版会

「レッドカーペット大作戦」
2019年に作成した販促物!

不動産学部が「社会に生きる幅広い学び」ができる学部であることを、高校生にもっとPRする目的の「レッドカーペット大作戦」も今年で2年目。昨年に引き続き、大学の学部案内とはひと味違った販促物で不動産学部をPRしました。

オープンキャンパス
特設サイトはこちら



昨年人気の高かった付箋がフィルム付箋にパワーアップして登場! 昨年度からスタートしたオープンキャンパス特設サイトへの誘導を目的に、より利便性やデザインを改良。イマドキの高校生に合ったカワイイデザインを採用し、オープンキャンパスでも多くの高校生が手に取ってくれました。

不動産学部
PRフィルム付箋



今回チラシの役目を担ったのが、このバッグ型クリアファイル。オープンキャンパスのときは手持ちバッグに、終わった後はクリアファイルとして活用できる優れたもの。不動産学部だからこそ選べる“未来の選択肢”をイラストで紹介。「将来やりたいことが決まっていない学生」「イメージ先行型の学生」へ向けて不動産学部への興味をより促しました。

不動産学部
PR動画



昨年大反響をよんだ「明海仮面」。今年は何と、浦安市舞浜にあるシネマクスピアリの「シネアド」で上演しました!(※その様子はP7の活動報告で紹介)インパクトのある「明海仮面」が、高校生に人気のある映画の前に上映されることで、オープンキャンパスや不動産学部を強く印象付けることができました。また「明海仮面」を見ていない方は、ぜひオープンキャンパス特設サイトからご覧ください(緑風会HPIにリンクあり)。

不動産学部
PRバッグ型クリアファイル



手提げバッグを
切り抜くと変身!

緑風会の運営に
ご協力いただける方を
募集中!

年1回~数回の活動です

緑風会では同窓会運営に協力していただける方を不動産学部卒業生から広く募集しております。母校への恩返しや同窓会への貢献を通じて、卒業生同士の交流を深めませんか?

募集概要

評議員...年に1回、新浦安で実施される会議に参加できる方
理事...新浦安で土曜午後年に数回実施される理事会に参加できる方

ご興味のある方は、現理事より詳しいご説明をいたします。話を聞いてみただけでもOKです。メールにてお問い合わせください。

E-mail: info-rea@meikai.com



2019年 活動報告

緑風会では、年間を通してさまざまな活動・事業を行っています。
セミナーや名刺交換会などは、同期、先輩・後輩と情報交換や交流ができる機会にもなっています。

2月：緑風会パーティー



2月15日(金)、緑風会パーティーが東京国際フォーラムのフロントイルパールで開かれました。約30人の参加者は、名刺交換と自己紹介をした後、近況を報告したり、情報交換を行ったりと話題が広がりをみせていました。参加者の一人は、「卒業して10年以上経ち、初めて参加しました。顔見知りもないので初めは緊張しましたが、皆さんが気軽に声をかけてくれ、15分もすると、すっかり打ち解けていました」と笑顔でした。また、「遠方なのでなかなか参加できなかったのですが、今年は偶然、出張と重なったので出席できました。不動産は情報がビジネスチャンスになるので、こういう機会があります」と話す九州からの参加者も。毎年参加している人からは、「懐かしい先生や友人に会えるだけでなく、ビジネスの情報を得ることができるのも魅力です。さらに多くの人に参加してもらいたいですね」と話してくれました。

3月：退職教員表彰

藤原徹教授・芦谷典子准教授に感謝状



3月14日(木)、明海大学浦安キャンパスで、2018年度で退職する藤原徹教授と芦谷典子准教授に対し、小野文章緑風会副代表が感謝状と記念品を贈呈しました。藤原先生は「明海大学での16年間で心に残っているのは、宅建の資格取得の指導をしたこと。簡単な資格ではないので、遅くまで大学で学生たちと過ごした時間はいい思い出です」と話してくれた。退職後は家業を継ぎながら、フリーの経済学者として活動されるとのこと。芦谷先生は「長い間、ありがとうございました。卒業生の皆さまのご活躍をお祈りいたします」と挨拶。退職後は、他大学で経済学部の教授として学生の指導にあたるそうです。小野副代表は「お二人とも明海大学で長い間教鞭をとっておられた先生ですので、寂しい気持ちです。両先生には今後も明海大学と緑風会を見守っていただければ…」と感謝の気持ちを伝えました。

5月：第25回 緑風会評議員会



5月25日(土)、浦安ブライトンホテルで第26回評議員会が開催されました。出席したのは緑風会の評議員、理事、顧問ら20名。粛々と2018年度の事業や決算、2019年度の予算案や事業案などの承認が進められました。決算報告では、小野文章副代表より、卒業後にしかるべき資格を取得してレポートを提出するとお祝い金が支払われる「資格取得奨励」の制度を設けているが、昨年度は予算が使われなかったことが報告され、「あまり制度が知られていないのが課題。せっかくの制度なので、ぜひ活用を」と呼びかけが。

不動産学部は、OB・OGによる活動が活発で、他の学部よりも多くの予算を獲得しており、今後も引き続き積

極的に事業を展開していく予定とのこと。

また、昨年度から実施されている、明海大学の知名度、ブランド力アップのためのプロジェクト「レッドカーペット大作戦」についてもあらためて説明。チラシは進路に迷う高校生に寄り添うような内容になっていたり、付箋にはQRコードを付けて特設サイトに誘導する仕掛けが施されていたりと、さまざまな工夫が凝らされており、手持ちのスマホで早速QRコードを読み込んでみる評議員も多く、関心の高さがうかがえました。「昨年度まで13年間定員割れとなっていた不動産学部でしたが、今年は14年ぶりに定員を回復しました。これもきっとこのプロジェクトの賜物だと思います」と中城康彦教授が話すと、歓声とともに大きな拍手が。小畑昌也代表からは、外部のディレクターとプロの役者を起用して撮影したPR動画『明海仮面』も紹介。この動画はYouTubeでも見ることができ、「女子高生から『スクールで面白い』と好評です」と中城教授からうれしい報告もあり、順調にプロジェクトが進められていることを、参加者全員で共有することができました。

2022年に設立30周年を迎える不動産学部の今後を見据え、OB・OGがどんな役割を担っていけばよいか、大きなテーマをそれぞれが胸に抱く、意義ある評議員会の場となりました。

7月：就活支援セミナー — 学生たちに就活のコツを講義



7月2日(火)、明海大学図書館ラーニングcommonsで、不動産学部卒業生による同学部学生向けの「就活セミナー」が開催されました。

講師はアットホーム株式会社総務部の南晋作氏。人事担当として採用活動に携わっており、現在の不動産業界の状況や、就職活動上のポイントなどを分かりやすく話してくれました。

南氏は自身の所属先について「不動産会社間の情報サービスを提供する業務支援型の企業で、デベロッパー、仲介、管理に当てはまらない」と、これまでの不動産業との違いについて説明。また、IT活用の流れは不動産業界にも及んでおり、これまでの不動産業のイメージにとらわれすぎないことも大切だと話しました。また、採用現場の視点から、インターンシップには積極的に参加すること、近年増えている「ワンデーインターンシップ」については、企業説明会的な側面が強いため、半日のものよりも最低丸一日のほうが、企業への理解度が上がり有益との話が

ありました。そして、現在4年生の学生から就活体験が語られ、「不動産流通業は内定が早く出るので、早めに動いて」「明海大学で勉強していれば、不動産の知識は誰にも負けないので自信を持って」と後輩にアドバイスしました。参加した学生からは「就活の具体的な話を聞くことができて良かった」「どういう気持ちで就活に向かえばいいのかがわかった」との声が聞かれました。



8月：「明海仮面」シネアド上映 映画館で明海大学をPR

今夏、シネマイクスピアリ(浦安市舞浜)で、映画の前に上演される「シネアド」で、明海大学不動産学部で作成した動画が映し出されました。「シネアド」とは、映画上映前にスクリーンに流れる広告のこと。

内容は、先に制作された不動産学部を紹介する動画「明海仮面」の紹介映像。まるで映画の予告編のような作りで、画面ではオープンキャンパスの開催日なども告知されたほか、「明海仮面」がミステリアスに描かれ、続きが気になる仕掛けが。このシネアドはシネマイクスピアリの16スクリーン全ての上演回で流れました。

同館でシネアドを観た小畑昌也代表は「同じ映像でも映画館で見ると迫力がありますね」と感想を話してくれました。明海大学不動産学部を広くPRするために始まった動画制作について、「今後、この映像を見て明海大学に入学したという学生に会うのが楽しみ。同窓会は、その卒業生だけで内々の活動をしているところが多いが、緑風会は大学と協力して、外へも情報を発信し、明海大不動産学部を、そして同窓会全体の活動を盛り上げていく活動をしていきたい」と意気込みを語ってくれました。



9月：緑風塾セミナー&名刺交換会



9月11日(水)、「カフェ&デリ オリーブ」(東京都恵比寿)で、緑風塾セミナーと名刺交換会が行われました。緑風塾セミナーでは後藤智理事(2002年卒)が講師となり、「ブロックチェーン(分散型台帳技術)」など次世代のネット活用について勉強会を行いました。来年から本格的に始まるという「5G」による通信革命によって、今後は現実世界だけでなく、バーチャル空間でも仮想資産として不動産が売買される時代が来るのではという話も。

また既に始まっている「ブロックチェーン」はデータの管理を特定の管理者が行うのではなく、ユーザー同士で合意形成の元に行うもので、これまでの思想とはまったく違うもの。既に仮想通貨などがブロックチェーンで管理されており、今後この技術の活用が広がりを見せると思われ、不動産業界も例外ではないそうです。

参加者からは「不動産業界は忙しく、つい勉強がおろそかになりがち。しかし新しい知識は常に吸収していく必要があるのでは、こうやって勉強会を開いてもらえるのはありがたい」という声が聞かれました。

勉強会後の名刺交換会では、明海大学で教鞭をとっていた先生も参加するなど、再会を喜ぶ場面も。また、会場となった「カフェ&デリ オリーブ」は、明海大学経済学部の卒業生が経営しており、店舗物件を探すときには、学生時代の知人である不動産学部の卒業生に相談したそうです。

緑風会では今後もこういったセミナーを開催する予定です。ビジネスに関する勉強の場、情報交換の機会として活用してください。

11月：無料不動産相談会



11月2日(土)、緑風会が浦安キャンパス講義棟で無料相談会を開催しました。「大学や社会で学んだことを地域の人や卒業生に還元しよう」という思いで毎年行われているものです。

不動産だけでなくさまざまな業種に卒業生がいる緑風会では、相談の内容に合わせて対応できるのが強み。相談会場を訪れた女性2人は、「不動産学部があると知らなかった」と不動産学部について興味津々。他学部の卒業生が訪れての名刺交換などもあり、異業種交流会となる一幕も。また、受験を検討している高校生も訪れ、受験や大学で学べることについて熱心に質問。理事たちは未来の会員候補にエールを送っていました。

良い時間の移ろい

土地の有効活用のご提案でプロジェクト開始当初からお付き合いさせていただいているオーナー様から新たなご相談をいただくケースが増えてきました。

■プロジェクトから12年、竣工から10年

ありがとうございました。オーナー様夫妻より、竣工10周年記念パーティーにお招きいただきました。

プロジェクト開始した時の12年前には、ランドセルをしょっていたご子息、ご令嬢も、今では素敵な紳士・淑女になられていました。お子様のお誕生日会で一緒にケーキを食べたのが、つい、先日のことのように思い出されます。と同時に、プロジェクトに携わって良かったと思える瞬間でもありました。

■お客さまの人生に寄り添える喜び

不動産の仕事について10数年が経過しました。

家族の環境の変化に伴い、オーナー様の要望やお悩みも変化していきます。新築当初は、専属の税理士の方と相談をして兄弟姉妹で共有にされていました。自分たちの年齢も上がり、相続というものを臆気ながら頭をよぎる時期にもなってきたとご相談をいただきました。

自分たち兄弟姉妹は仲良しだけど、自分たちの子どもたちはそ

んなに仲が良いのか不安が出てきたというご相談でした。

共有の人数が増えれば増えるほど、分割対策等は難しくなってきます。実際、自分の経験でも、5坪の土地に共同相続人が32名という案件を扱ったことがあります。日本に居住していない方、行方不明の方などがいらっしゃる、個人的にはやりがいがありましたが、莫大な労力と時間を要しました。

ここまでの案件はレアケースですが、共有のメリット・デメリットをお伝えしていき、われわれが考えるご提案をさせていただきました。

今後われわれ管理会社は、「物件管理」から、「人と資産の管理」への移行が不可欠だと思います。そして、切っても切れない関係にあるのが相続対策です。なぜなら、「相続財産の大半を不動産が占めている現実」を見れば、相続対策に不動産のノウハウが不可欠だからです。

オーナー様の希望を叶えるため、またオーナー様の愛するご家族の未来のために幸せな相続のストーリーを描くことが、われわれに与えられた大きな使命の一つと考え、今後も精進してまいります。

(2002年卒 林 昭孝)

緑風会では資格取得支援金を支給しています

緑風会では会員の資格取得を支援するため、会の指定する資格を取得した正会員に対して支援金を支給しています。頑張った自分に合格祝い。そして、おめでたい話はぜひ会員で分かち合いましょ！ 皆さんの合格と申請をお待ちしています。

1.支給条件

明海大学浦安キャンパス不動産学部不動産学科卒業生(正会員)のうち、緑風会が指定する資格試験(指定資格)に合格し、かつ、緑風会指定書式による合格体験レポートを提出した方。

2.指定資格及び支援金区分

- (1) 支援金5万円
 - ・不動産鑑定士 ・司法試験 ・公認会計士 ・一級建築士
- (2) 支援金3万円
 - ・税理士 ・司法書士 ・土地家屋調査士
- (3) 支援金1万円
 - ・マンション管理士 ・社会保険労務士 ・中小企業診断士
 - ・測量士 ・二級建築士 ・1級ファイナンシャルプランニング技能士
 - ・宅地建物取引士 ・管理業務主任者 ・再開発プランナー
 - ・インテリアコーディネーター ・建設業経理士1級
 - ・不動産証券化マスター ・行政書士 ・日商簿記1級

3.申請手続

- (1) 提出書類
 - ※1・2はHPに会の指定用紙あり
 - 1. 資格取得支援金申請書
 - 2. 合格体験レポート
 - 3. 資格合格の証明となる書類のコピー1部
(取得または合格年月日等のわかるもの)
- (2) 申請期間/指定資格の合格より1年間を有効期限とする。
- (3) 申請方法
 1. 郵送
〈送り先〉〒279-8550 浦安市明海1-2-1
明海大学浦安キャンパス同窓会 緑風会事務局 行
 2. メール/提出書類をメールに添付してお送りください
Eメールアドレス info-rea@meikai.com

4.支援金給付

- (1) 給付方法/申請書に記入された本人名義の銀行口座に振込
- (2) 給付期日/申請を受理した日より3カ月以内
- (3) 給付通知/指定口座への振込をもって通知に代えるものとします。

5.その他

対象者(合格者)の氏名及び合格体験レポートについては、緑風会報・緑風会HPに公開いたします。氏名については、公開不可の場合、イニシャル掲載となります。

2018年度決算・2019年度予算

(2018年4月1日～2019年3月31日)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2018年度決算		単位 (円)
会議費	588,981	
事務管理費	113,171	
事業費	1,779,893	
慶弔費	16,200	
支出合計	2,498,245	

2019年度予算		単位 (円)
会議費	600,000	
事務管理費	130,000	
事業費	1,940,000	
慶弔費	30,000	
予算合計	2,700,000	

2018年度事業報告・2019年度事業計画

(2018年4月1日～2019年3月31日)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2018年度事業報告	
会議	
第68回理事会	4月21日(土)
第25回評議員会	6月2日(土)
第69回理事会	8月4日(土)
第70回理事会	12月1日(土)
第71回理事会	2月2日(土)
事業	
緑風塾支援	通年
緑風塾支援セミナー	7月20日(金)
ブランディングサポート	通年
学部生イベント支援 (不動産キャリアデザイン授業講師派遣)	5月8日(火) 12月20日(木)
無料不動産相談会	11月4日(日)
会報発行	12月中旬
資格取得支援	通年
名刺交換会	7月20日(金) 11月30日(金)
緑風会パーティー	2月15日(金)
退職教員表彰	3月14日(木)

2019年度事業計画	
会議	
第72回理事会	4月20日(土)
第26回評議員会	5月25日(土)
第73回理事会	9月28日(土)
第74回理事会	12月14日(土)
第75回理事会	2月8日(土)
事業	
緑風塾支援	通年
ブランディングサポート	通年
学部生イベント支援 (不動産キャリアデザイン授業講師派遣)	7月2日(火) 12月5日(木)
無料不動産相談会	11月2日(土)
会報発行	12月中旬
資格取得支援	通年
名刺交換会	年3回
緑風会パーティー	2月14日(金)
退職教員表彰	3月14日(土)

2019年度 評議員 (30名)

1995年度卒: 酒井 上、戸田 友紀子	2009年度卒: 大槻 なつみ
1996年度卒: 小田倉 憲一	2012年度卒: 山下 匠、武笠 秀明
1997年度卒: 齋藤 豊、宋 杰、大友 哲哉	2013年度卒: 木下 さわこ
1998年度卒: 渡邊 佑紀史、齋藤 哲生、田村 康史、向井 順哉	2014年度卒: 林 邦人、垣田 将吾
1999年度卒: 久保ノ谷 淳、高橋 秀輔	2015年度卒: 森田 愛理
2001年度卒: 小谷地 あゆみ、曹 雲珍、竹内 靖治	2016年度卒: 熊崎 瞬、野原 平順
2002年度卒: 藤坂 篤史	2017年度卒: 池羽 七海
2006年度卒: 関根 健太	2018年度卒: [新任] 塩島 主也、遠山 一毅
2008年度卒: 市川 友博	

2019年度 理事・顧問 (理事14名・顧問4名)

卒業年度	役職	氏名	卒業年度	役職	氏名
1996	代表	小畑 昌也	2009	理事	津賀 国栄
1996	副代表	小野 文章	2010	理事	曾根岡 拓路
2000	事務局担当	道下 直明	2015	理事	小野 史奈
1998	理事	松島 孝夫	2017	理事	征矢 尊紀
2002	理事	中山 直彦			
2002	理事	後藤 智	1995	顧問	伊藤 憲
2002	理事	林 昭孝	1995	顧問	佐藤 仁思
2007	理事	門脇 千聡	1995	顧問	本間 勝
2007	理事	登玉 健太	1995	顧問	渡辺 孝之
2008	理事	檜崎 剛			

2020年2月14日(金) 緑風会パーティーのお知らせ

不動産学部の仲間と楽しいひとときを。初めて参加する方、一人で参加する方もお気軽に!さまざまな業界で働く会員が集まりますので、「仕事の話を聞いてみたいな」という方も大歓迎です。先生方も参加いたします。

緑風会パーティー(名刺交換会)

- 日時: 2020年2月14日(金) 19:30~21:30(受付19:00)
- 場所: 東京国際フォーラム AブロックB1F 「シズラー 東京国際フォーラム店」
- 会費: 男性3,000円、女性2,000円
※当日会場にてお支払い
※参加は同窓生本人のみにとなります
- 締切日: 2020年1月31日(金)

申し込み方法はHPのトピックスをご参照ください。 <http://www.meikai-rea.jp/>

編集後記

『R.E.A News』24号を無事に発行することができました。今号では、明海祭で構内をめぐり、現在の明海大学の施設や環境を見て回りました。その充実した学びの環境に驚くとともに、在学生にはこの施設を十分に活用してほしいと思いました。そのほか、昨年に引き続き、明海大学のプランディングサポートプロジェクト「レッドカーペット大作戦」の取り組みについてもご紹介させていただきました。ご意見・ご要望などがありましたらお寄せいただけると幸いです。

2020年も皆様にとって良い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

緑風会理事 中山



緑風会ホームページ、 ぜひチェックしてくださいね！

緑風会では同窓会の活動内容の紹介や各種イベントの告知をホームページで随時行っています。ふと気が付いた時に緑風会のホームページを見れば、何か新しいことに出会えるかもしれませんよ。詳細はご覧いただくとともに、ぜひ他の卒業生にも教えてあげてください。

URL <http://www.meikai-rea.jp/>

「明海 緑風会」で検索してください

イベントのお申し込みや住所変更登録、資格取得支援金の申請などもホームページから行えます。

『R.E.A News』vol.24 表紙について



24号をご覧になり、「この表紙は何だろう」と思われた方も多いのではないのでしょうか？2019年もさまざまな出来事があり、日本の不動産・経済を取り巻く状況も変化してきています。そんな“今”を表したのが、今回の表紙絵になっています。この「絵解き」は、1月から緑風会のホームページに掲載いたします。いつも見てくださる方も久しぶりの方も、ぜひこの機会にホームページをご覧ください。